

# よこすか ECO通信

第8号(平成25年3月)

発行:横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議

## 外国からきた生き物

徐々に暖くなるこの季節、天気の良い日に、公園などの広場で四葉のクローバー探しをしたことはありませんか?このクローバーことシロツメクサは、もともとは牧草として外国からやってきました。日本の野外に生息する外国からきた動植物は分かっているだけでも約2,000種あります。人によって、他の地域から持ちこまれた生き物を「外来生物(がいらいせいぶつ)」といいます。ペットや食用として持ち込まれたもの、荷物などに紛れて日本にやってきた

## 外来生物について考えてみよう

この外来生物の中には、持ち込まれた先の地域に害を引き起こすものがいて、「特定外来生物(とくてい がいらいせいぶつ)」として法律\*で定められています。「特定外来生物」は、外国からきた外来生物のうち、様々な被害をおよぼすもの、またはそのおそれがあるものの中から決められます。

### ○生態系への被害

外来生物によって、もともと日本にいる生き物が食べられたり、すみかやエサをとられてしまう。

### ○人の生命・身体への被害

毒を持っている外来生物にかまれたり、刺される危険がある。

### ○農林水産業への被害

畑の作物を食べたりして、荒らしてしまう。



横須賀市では、特定外来生物のうち、台湾リスとアライグマの捕獲を行っています。これらの生物は畑を荒らしたり、人家に侵入する等の被害を与えています。また、よこすかECO通信第3号「季節の生き物図鑑」で紹介したトウキョウサンショウウオなどの希少な生き物がアライグマに食べられるという報告もあります。

なんだか「悪い生き物」という印象が強いかもしれませんが、台湾リスやアライグマも、もとは人間がペットや展示物として外国から連れてきたものです。飼いきれずに手放されたものや、逃げ出したものが野生化して、横須賀市を含む三浦半島でくらしているのです。本来の生息地では普通に生活をしていたはず。こうして見ると、特定外来生物自体も、人間の活動によって被害をうけていると考えられますね。これ以上の被害を出さないためには、外来生物を①むやみに持ち込まない、②飼っている場合は野外に捨てない、③他地域に拡(ひろ)げない ことが大切です。

\*...特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律(外来生物法)  
参考資料 環境省 外来生物法<http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>



# 春の環境学習講座などのお知らせ



## 横須賀市市民大学 前期講座 (全22講座)

### 「自然との共生」いまむかし

～自然を正しく恐れる努力～

日時 6月7日～7月19日の金曜日(全4回) 13:30～15:30

講師 防衛大学校名誉教授 中村三郎ほか

会場 生涯学習センター5階

定員 80名

受講料 2,000円



### 三浦半島の自然 ～地球科学・植物・動物から見た三浦半島の多様な自然～ (野外活動あり・一日行程の予定)

日時 5月22日～7月10日の水曜日(全8回) 10:00～12:00

講師 横須賀市自然・人文博物館学芸員 大森雄二ほか

会場 横須賀市自然・人文博物館ほか

定員 40名

受講料 4,800円(保険料含む)

ほかに「野の鳥の世界」(木曜日・午後)の講座もあります。講座の日程、申込方法など詳細は、3月25日頃に発行される「横須賀市市民大学募集要領」または、横須賀市生涯学習センターHP (<http://www.mmjp.or.jp/shogaigakushu/>)をご覧ください。

申込 インターネット、通常はがき、電話、来館のいずれか。

\*希望者多数の場合、市内在住・在勤・在学者を優先。

締切 4月23日(火) 20:00

問合せ 横須賀市生涯学習センター

〒238-0046 横須賀市西逸見町1-38-11

電話 822-4873

## 横須賀市自然・人文博物館

### 「国際博物館の日」記念企画「博物館クイズラリー」

日時 4月27日(土)から5月26日(日)

9:00～17:00(受付16:30まで)

場所 横須賀市自然・人文博物館 展示室

対象 主に小・中学生

内容 展示室を見学しながら三浦半島に関するクイズに答え、楽しみながら身近な自然と歴史を学ぶことができます。受付でクイズシートを配布します。<参加自由>

### 博物館教室「そだててしらべる!カブトムシ」

日時 5月18日(土)、7月13日(土) 13:00～15:30

場所 横須賀市自然・人文博物館 講堂

定員 20名

\*希望者多数の場合、市内在住者を優先。

締切 5月2日(木)

申込 往復はがきで、往信面に行事名・参加希望者全員(家族に限る)の住所・氏名・年齢・電話番号、復信宛名面にご自分の住所・氏名を記入し、博物館へ。

問合せ 横須賀市自然・人文博物館

〒238-0016 横須賀市深田台95

電話824-3688

## 緑のカーテン作り方講習会

夏に向けて緑のカーテン作りを始めませんか?

参加者にはゴーヤの苗を差し上げます。

日時 5月14日(火) 14:00～15:30

場所 市役所3階301会議室

定員 先着60名

申込 4月15日(月)～30日(火)

電話かFAXで横須賀市コールセンターへ

電話822-2500 FAX822-2539

問合せ 横須賀市環境企画課 電話822-8524



## すかっ子セミナー2013 参加者募集 -小中学生の土曜体験プログラム-

市内の活動団体が月1回土曜日に、小中学生を対象に得意分野のプログラムを実施します。(詳細は募集チラシを参照)

コース ・生活環境系:エコニコサークル

・自然系A:川がき探検隊

・自然系B:自然博士になろう

・自然系D:海っ子・山っ子(海編)

(環境系以外のコースもあります。)

期間 5月～12月(原則土曜日、月1回)

対象者 小学校4年生～中学生(小3以下は要相談)

参加費 4,000円

締切 3月29日(金)～4月27日(土)(必着)

申込 すかっ子セミナー実行委員会

〒238-0041 横須賀市本町3-27

市民活動サポートセンター内レターケースNo.66

問合せ 事務局(YPS) 電話823-1965(藤澤)



## 観光協会主催ガイドツアー

### 「前田川より新緑の大楠山へ自然満喫コース」

日時 5月19日(日) 10:40～14:00 雨天中止

定員 60名

参加費 300円

締切 5月15日(水)

申込 はがき(1枚4名まで)にコース名、参加者全員の住所・氏名・年齢・電話番号を記入して観光協会へ。

問合せ 横須賀市観光協会

〒238-8550横須賀市小川町1 1 横須賀市経済部商業観光課内

電話046-822-8256 FAX 046-827-1682

## 2013年全労済地域貢献助成事業

地域の人が助けあって環境を守る活動、子どもの健やかな育ちを支える活動を支援します。

対象 ①NPO法人、任意団体等 ②1年以上の活動実績 ③年間収入300万円以下 (①～③すべてに該当)

期間 7月20日～平成26年7月19日の活動

分野 ①環境分野、②子ども分野

助成 1団体あたり上限30万円(総額2,000万円)

締切 4月10日(水) 必着

申込 申請書(HPから取得)に提出書類を添えて郵送

\*詳しくはHPをご覧ください。

問合せ 全労済 総務部内 地域貢献助成事業事務局

〒151-8751東京都渋谷区代々木2-12-10

電話03-3299-0161 FAX03-5351-7772

E-mail 90\_eco@zenrosai.coop

HP <http://www.zenrosai.coop/zenrosai/topics/2013/130212.php>

## はじめよう こどもエコクラブ

こどもエコクラブは3歳から高校生までならだれでも参加できる環境クラブです。一緒に活動する仲間と、活動を支えるサポーター(20歳以上)を集めて活動を始めよう!

<エコクラブの活動>

①エコロジカルあくしょん:

興味や関心のある分野について自由に行う環境活動

②エコロジカルトレーニング:

HPに掲載された環境活動・学習プログラムに取り組む活動

こどもエコクラブHP <http://www.j-ecoclub.jp/>

<登録方法(登録無料)>

上記HPで登録もしくは登録用紙を地方事務局へ提出

問合せ 横須賀市環境企画課(地方事務局) 電話822-8327



# エコ活動みつけた

横須賀市で環境に関する活動をしている団体をご紹介します。

## よこすか田んぼ研究会

テーマは「自然へ一歩、近づく」。自然環境に関心を持ってもらうことを目的に、田植え、稲刈り、泥遊びなどの体験活動を提供しています。



参加者は荻野地区のエコクラブの小中学生を始め、小さいお子さんから年配の方までさまざま。参加者から会員になる方も多く、関心の広がりを感じます。

会の運営には、会員だけでなく、環境活動に理解のある地主さんの協力が不可欠です。社会のニーズに合ったより良いあり方を探り続けています。



連絡先 あさたい（代表）

E-mail: [sukatan@nethome.ne.jp](mailto:sukatan@nethome.ne.jp)

ブログ: <http://sukatan.doorblog.jp/>

## 津久井の自然を守る会

津久井の自然を守る会は、地域の身近な緑を自分たちの手で守りたいという思いで、1999年7月に発足。武山山中の不法投棄防止活動と里山保全再生の活動を行っています。不法投棄関係では、横須賀市に要請し大々的な撤去作業が2010年12月と2012年2月に実現。また、2011年4月には、地域住民60名が参加し「市民による不法投棄撤去作業」で残りの中型・小型ごみ土嚢袋100個以上を撤去しました。ホタル自生地保全・再生の活動では、多様な生物のための環境づくりの第一歩として、2012年度は田んぼづくりに挑戦し、ホタルのほかトンボやカエルの姿がこれまで以上にみる事ができました。

また、当会は、津久井小学校総合学習に不法投棄防止、自然体験の場を提供しています。2012年度は富士フィルム・グリーンファンドの対象団体となりました。



手作業で脱穀する子どもたち

連絡先 津久井の自然を守る会代表 三澤幸子

電話: 090-1439-7813

E-mail: [32007sawa@jcom.home.ne.jp](mailto:32007sawa@jcom.home.ne.jp)

## ひなの会

ひなの会では、不用となった布をリサイクルして、吊るし雛飾りを作っています。毎月1回、リサイクルプラザ・アイクルを活動場所として活動しています。平成18年度から、毎年2月に追浜コミュニティセンターで作品の展示会をしています。また、毎年1月中旬からリサイクルプラザ・アイクル、メインアリーナ、追浜行政センターの各ロビーに展示して、季節の風物として皆さまに喜ばれています。



古布から生まれ変わった吊るし雛飾り

連絡先 ひなの会代表 久光勝子

電話 046-866-0345/090-6707-6176



飾り付けの準備の様子

## よこすか里山びらき

～身近な里山づくりを目指して～

里山的環境の保全・活用のための活動が始まります。皆さんも、里山の魅力について考え、里山の自然と触れ合うイベント「よこすか里山びらき」に参加してみませんか。

### 【プログラム】

1. 午前の部 里山の生き物調査報告（長坂・野比）と里山座談会  
日時：5月25日（土）10:00～12:00  
場所：西コミュニティセンター

2. 午後の部 里山の自然体験（長坂・沢山池周辺）

日時：5月25日（土）13:30～15:00

①自然観察会 春の植物・昆虫・水生生物と荻野川の水質調査

対象：小学校4年生以上（小学生は保護者同伴）

②里山林の手入れ体験（下草刈り）

対象：小学校5年生以上（小学生は保護者同伴）

③親子の自然あそび（ネイチャーゲームなど）

対象：3才～小学校3年生（保護者同伴）

\* 午前の部だけに参加する人は申込不要。直接会場へ。

\* 午後の部①、②に参加する人は午前の部への参加必須。

\* 西コミュニティセンターと長坂の里山活動区間は、貸し切りバスで移動します。

申 込：はがき、メール、FAX、里山ホームページ  
(<http://yokosuka-satoyama.jp>) のいずれか。  
〒、住所、氏名（フリガナ）、年齢、電話番号、  
参加人数、希望する自然体験の番号（①～③）を記入。  
締 切：4月30日（火）  
問合先：横須賀市環境企画課自然環境担当  
〒238-8550 横須賀市小川町11  
電話822-8528 FAX821-1523  
E-mail: [ne-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp](mailto:ne-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp)

# 季節の生き物図鑑

## 第7回 水辺の外来生物

春になると市内の水辺では、エビ、魚、カエル、カメなどを見ることができますが、近年では人の手によって持ち込まれた「外来生物」がとて増え、昔から見られた在来の生き物より数が多いほどです。

**アメリカザリガニ**は北アメリカ原産のエビのなかまで、昭和初期にウシガエルの餌として国内に持ち込まれました。北海道や東北地方の清流に生息するニホンザリガニとは異なり、多少汚れた水でも生きていけるため全国に広がりました。

**オオクチバス**(ブラックバス)は北アメリカ原産の魚で、昭和初期に最初に国内に持ち込まれました。昭和50年代以降は釣りを目的に市内各地の池や平作川などに放流されて繁殖しています。同じなかまの**ブルーギル**とともに、在来の小魚やエビ、昆虫などを食いあらすことから、特定外来生物に指定されています。

**ウシガエル**は北アメリカ原産のカエルのなかまで、大正中期に食用として最初に国内に持ち込まれ、昭和中期まで各地に移殖され続けました。口に入る生き物をなんでも食い荒らし、在来の生態系を破壊することから、現在では特定外来生物に指定されています。

**ミシシippアカミミガメ**は北アメリカ原産のカメのなかまで、「ミドリガメ」として輸入・販売されています。成長すると飼育しきれなくなり、野外へ放流することが後を絶たず、市内の河川や池で見られるカメのほとんどが本種となっていました。市内では危険な**カミツキガメ**も見つかっていて、注意が必要です。

(横須賀市自然・人文博物館 萩原清司 学芸員)



アメリカザリガニ



平作川を泳ぐオオクチバス



ウシガエルの幼生(おたまじゃくし)



成長したミシシippアカミミガメ

### ◎アライグマ、タイワンリスなどの被害にお困りの方に捕獲檻の貸し出しを行っています

横須賀市では、特定外来生物に指定されているアライグマ、タイワンリス、有害鳥獣に指定されているハクビシンによる被害の対策として、捕獲檻の貸し出し、捕獲された場合の回収を行っています。被害にお困りの方や、被害を未然に防ぎたい方は、環境企画課自然環境担当(電話 822-8528)あてにご連絡ください。

\*檻の貸し出し、捕獲された場合の回収費用は無料です。ただし、檻のオトリ餌は自己負担になります。

### みなさまからのECOな情報も募集してます

発行: 横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力: 横須賀市自然・人文博物館  
(発行元) 〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課  
TEL 046-822-8327 FAX 046-821-1523  
E-mail: [ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp](mailto:ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp)

この情報紙は、横須賀市環境教育・環境学習ネットワーク会議のトライアル事業の一環として発行しております。「環境教育・環境学習ネットワーク会議」とは、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。

